

滋賀県ホームページリニューアル方針

2023年 月 日

知事公室広報課

総合企画部DX推進課

はじめに

滋賀県ホームページは年間4,600万件以上のアクセスがあり、防災・災害、観光、教育等、県政に関わる様々な情報の発信源として重要な役割を担っている。今後はデジタルシフトがさらに進み、県政情報の発信ツールとしてこれまで以上に重要性が高まっていくことが考えられる。このため、現在の課題を解決し、より利用しやすいホームページの実現をめざして、リニューアルを実施する。

リニューアル方針の策定について

リニューアルを実施するにあたり、次期ホームページにおいて解決すべき具体的な課題とその解決方法をまとめた「滋賀県ホームページリニューアル方針」を策定した。今後は、原則、本方針に従ってリニューアルを実施する。

リニューアル方針 項目一覧

リニューアル方針として、ホームページ利用者に関する7項目、および記事作成者(職員)に関する1項目を定めた。

情報分類・サイト構造

公開記事数

各記事の品質

スマートフォン対応

魅力発信

緊急、災害情報発信

記事の作成、運用管理

次ページ以降に、それぞれの項目に関する課題、解決方法、目指す姿(課題解決後の姿)を記載した。

情報分類・サイト構造

課題：探しづらく分かりづらい分類・構造

- ・ 「県民の方」「事業者の方」「県外の方」等、大分類が利用者別となっていて目的の情報をどこから探せばいいか分かりづらい
- ・ 大多数の記事が3階層目に存在し、また、一部のカテゴリに偏っているため目的の情報を探しづらい
- ・ ポータルサイト、地方機関のサイトが1階層目に設置されており、関連記事から辿り着きにくい
(例:「県民の方」->「防災・危機管理」->「消防・救急」という分類があるが「消防学校」トップページへのアクセスはできない)
- ・ 時系列順に記事が掲載され、重要度が分かりづらい
- ・ 検索機能を使っても目的の情報に辿り着かないことがある

解決方法

- ・ 大分類を利用者別から分野別(「暮らし」「防災」等)に変更する
- ・ 階層とメニュー数のバランスを考慮し、情報分類、サイト構造を見直す
- ・ 全てツリー構造に収まるように分類、サイト構造を見直す
- ・ 時系列だけでなく重要度等も踏まえた掲載方法に変更する
- ・ サイト内検索、組織別検索等、複数の検索機能を設置する
- ・ チャットボット等、検索を補助する機能を導入する

目指す姿：探しやすい分かりやすい分類・構造

- ・ 情報が掲載されている場所がより明確になり、検索性、利便性が向上する
- ・ 必要な情報がどこにあるか分からない場合でも、多様な検索機能を使って目的の情報に辿り着ける

公開記事数

課題：公開記事数が多い (約 52,000 ページ以上(※1))

- ・ 情報が古い等、不要である可能性が高い記事が多数公開されており、必要な情報に辿り着きづらい
- ・ 現在のホームページ掲載ルールでは、記事の性質によらず掲載期間が永年となるものが多く、無制限にストックされてしまう
- ・ 現行 CMS では「公開期限が迫っている」という通知機能がないため、公開切れを防ぐため、あらかじめ十分長い公開期間を設定するという運用になっており、公開記事が増大してしまう

(※1) 都道府県順で 9 番目に多い【参考:人口第 9 位 福岡県 約 510 万人】

解決方法

- ・ 既に公開されている記事は、あらためて要/不要の判断を行い、不要なページを非公開化する
- ・ 現行のアーカイブ的な運用を見直し、記事の性質ごとに公開期間を適切に見直すことで公開記事を減らす
- ・ 公開期限が迫ってきたことを通知する機能をもった CMS を導入大分類を利用者別から分野別(「くらし」「防災」等)に変更する

目指す姿：適切な記事の公開期間の運用

- ・ 利用者が必要としている記事のみが公開され、検索性、利便性が向上する

各記事の品質

課題：低品質(リンク切れ、アクセシビリティ)な記事が存在する

- ・ リンク切れが多数発生し、目的の情報を得られない
- ・ アクセシビリティ対応が不十分であり、障がいのある方等が情報を得づらい
- ・ PDF ファイルが大量に添付されていて、アクセシビリティ上問題がある

解決方法

- ・ リンク切れの解消、またはリンク切れが発生している記事の削除
- ・ アクセシビリティチェック、リンク切れチェックが容易に行えるCMSの導入
- ・ アクセシビリティに関する職員研修を定期的を実施
- ・ PDF 添付に関するルールを厳格化し、掲載する PDF を最小限にする

目指す姿：全ての記事の品質向上

- ・ 全体の品質が向上し、誰にとっても閲覧しやすいホームページが実現できる

スマートフォン対応

課題：スマートフォンで情報を得づらい

- ・ 関連リンク等のメニューがスマートフォンでは表示されないので、
- ・ PDF ファイルが大量に添付されていて、スマートフォンでの閲覧性が悪い

解決方法

- ・ 掲載内容、表示順をPC, スマートフォンで同一化する
- ・ (再掲)PDF 添付に関するルールを厳格化し、掲載する PDF を最小限にする

目指す姿：スマートフォンでの閲覧性向上

- ・ スマートフォンから閲覧される方でも情報を探しやすくなる

魅力発信

課題：県の魅力の発信力不足

- ・ 滋賀県の魅力(琵琶湖、自然、歴史文化遺産等)に関する情報が、各所に分散していたり深い階層に掲載されていたりするため、滋賀県の魅力に関する情報発信やアピールが十分にできていない

解決方法

- ・ 「滋賀県の魅力」と題して、関連情報を集約し、大分類化またはトップページに専用領域を設ける。

目指す姿：県の魅力の発信力強化

- ・ 滋賀県ホームページ上で、現行以上に県の魅力を発信できるようになる

緊急、災害情報

課題：緊急時での発信力不足

- ・ 緊急、災害情報を掲載する場所が防災ポータル、各所属が所管する場所等に分散されていて分かりづらい
- ・ 緊急情報の掲載ルール、承認プロセス等が明確ではないため、掲載までに時間を要することがある
- ・ 緊急情報が目立ちにくい

解決方法

- ・ 緊急・災害情報が掲載されている場所(「防災危機管理」、「薬事感染症」、「滋賀県防災ポータル」等)等で一体で発信できるよう、分類構成、掲載場所を見直す
- ・ 緊急情報掲載に係るルールを策定する
- ・ 緊急時のトップページ、各記事の掲載方法を見直す

目指す姿：緊急時での発信力強化

- ・ 緊急時において、重要度が高い情報、最新の情報を迅速かつ的確に伝えられる

記事の作成・運用管理

課題：記事作成、運用管理がしづらいCMS

- ・ 作成した記事がどこに掲載されるか分かりにくく、各所属でのページ管理がしにくい
- ・ ユーザーインターフェースが悪く、直感的な操作ができないため記事作成に時間を要する
- ・ リンク切れの発生が通知されず、リンク切れのある記事が認識されない
- ・ 注目情報等への移行等、手動でしなければならないことが多く、手間がかかる
- ・ 記事作成後、関係者への周知はメール等で別途行わなければならない

解決方法

- ・ 操作性の良いCMSを導入する
- ・ 効率的に運用管理等ができる機能を導入する
 - リンク切れ発生個所の通知機能
 - アクセシビリティチェック機能 等
- ・ その他、AI等、最新の機能を活用したCMSの導入の検討

目指す姿：誰もが使いやすいCMS

- ・ 職員負担を最小限にしつつ、ホームページ全体の品質向上、維持が実現できる